

# 530012 TruMan Trauma User Guide

トゥルマントラウマ  
ユーザーガイド



## 推奨使用器具サイズ

- 経鼻挿管：7.0～7.5mm
- 経口挿管：8.0～9.0mm
- ラリングルマスク サイズ：3～5
- 他の声門上器具についても同様のサイズ

## 習得できる手技

- 緊張性気胸の脱気
- 心肺蘇生
- 胸腔ドレーンの挿入
- スニッフingポジションの確認
- バッグマスク換気
- セリック手技を含む喉頭鏡操作
- 各種器具を使用した気道管理
- 喉頭鏡の使用
- ファイバー喉頭鏡の挿入
- 吸引器のトレーニング
- 経口・経鼻ファイバースコープ検査
- 経口・経鼻気管挿管
- ダブルルーメンチューブの挿入
- 輪状甲状間膜穿刺・切開
- 経皮的気管切開術

## 商品構成

- トゥルマントラウマ本体
- 新ネックスキン × 1\*
- 一体型交換用喉頭 × 5\*
- 脱気インサート (2個組) × 1\*
- 胸部ドレーンインサート (左/右) × 2\*
- 水性潤滑剤
- キャリーケース \* 消耗品は各1個本体装着済

## ご使用になる前に

- 頭部が正しいポジションにあるか確認してください。マネキン頭部は展退させることでスニッフingポジションの状態を保持できる構造になっています。
- 舌の空気圧が十分であることを確認してください。本体底部中央のAIRコネクタにシリンジを装着し、加減圧の調節を行なうことで、挿管難易度を任意に設定できます。
- ご使用前には、必ず挿管器具や気道部分に付属の潤滑剤を十分に塗布してください。デバイスによる手技中のモデルへの損傷が軽減され、生体同様の湿潤な気道状態も再現されます。
- 脱気インサート/胸部ドレーンインサートの交換は、潤滑剤を少量塗布することで容易に行なえます。

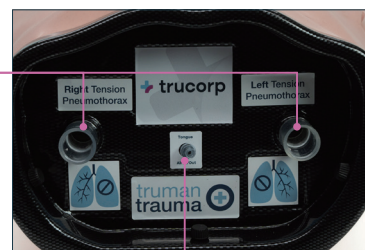
**NLS** 日本ライトサービス株式会社  
Nihon Light Service, Inc.

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-1

☎ 03-3815-2354 ☎ 03-3818-6843 ✉ igaku@nlsinc.co.jp 🌐 www.medical-sim.jp

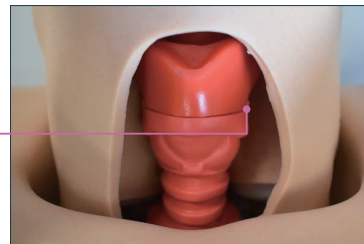
## 緊張性気胸／舌浮腫のシミュレーション

1. 緊張性気胸は本体底部の左右のポートに送気バッグを接続し、空気を少量送気します。装着された脱気インサートに空気が充填され、脱気可能となります。  
※送気時に抵抗を感じたり、空気漏れの音がする場合は内部のチューブの接続状態を再確認してください。
2. 舌浮腫や舌の空気圧を減圧し挿管難易度を変更する際は、本体底部の中央のポートにシリンジを接続して調節を行ってください。



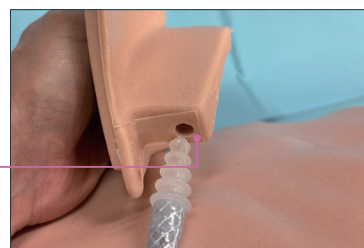
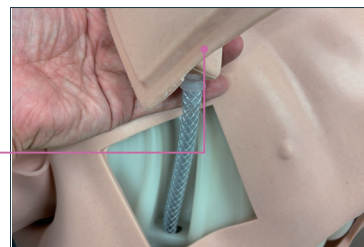
## 消耗品の交換（喉頭）

1. 喉頭と頸部スキンは交換が可能です。喉頭は交換用喉頭と本体の4か所のツメ（凹凸）に隙間がなく、装着されていることを確認してください。



## 消耗品の交換（脱気インサート：第2肋間）

1. 脱気インサートを胸部からずらし、本体から取り出します。
2. 本体から脱気インサートを取り出し、装着されている送気チューブを抜き取ります。新しい脱気インサートを装着し元に戻します。※脱気インサートは左右（L/R）で形状が異なります。装着時は潤滑剤を少量塗布してください。



## 消耗品の交換（胸部ドレーンインサート：第5肋間／第6-7肋間）

1. 胸部ドレーンインサートは、第5肋間が胸腔穿刺に、第6-7肋間が胸腔ドレーン手技に対応しています。（交換の際、送気チューブは本体から引き出せます。）
2. 肋間に挟み込まれているインサートを取り外し、新しいインサートに交換します。※胸部ドレーンインサートは左右（L/R）で形状が異なります。装着時は潤滑剤を少量塗布してください。

